

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AM14Z005		コミュニケーション学 (Communication Studies)					基礎分野科目 社会・経済		対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	1	1	医学部先進医療科学科	後期	水2	日本語			単独						
担当教員	氏名 上野 徳美 E-mail ueno@oita-u.ac.jp 内線														
授業の概要	コミュニケーション学の基礎的知見や方法論について講義するとともに、医療・保健分野などにおける人間関係やコミュニケーションの実際問題について論考する。講義や討議、ロールプレイなどを通じて、患者・クライアントや医療スタッフとの相互理解と人間関係の構築・改善、さらにチーム医療に有用なコミュニケーションスキルや視座を養う。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	コミュニケーションの概念や働きを理解できる														
目標2	コミュニケーションの過程や要因、効果、多様性などについて理解できる														
目標3	円滑で有効なコミュニケーションのための知識とスキルを身につける														
目標4	自他尊重と他職種連携のコミュニケーションスキルや方法論を身につける														
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							2	8							
授業の内容															
1	授業ガイダンス、コミュニケーション学とは、コミュニケーションとは														
2	他者理解とコミュニケーション														
3	心を開くコミュニケーション														
4	対人コミュニケーション1 - コミュニケーションの働きとプロセス -														
5	対人コミュニケーション2 非言語コミュニケーションの役割、働き -														
6	コミュニケーションの技法-1 - 話を効果的に聴く技法 -														
7	コミュニケーションの技法-2 - 話を効果的に聴く技法 -														
8	自他尊重のコミュニケーション1 - アサーションの意義と役割 -														
9	自他尊重のコミュニケーション2 - アサーション力の改善・向上 -														
10	態度・行動の変容を促すコミュニケーション														
11	チームコミュニケーションとリーダーシップ、メンバーシップ1														
12	チームコミュニケーションとリーダーシップ、メンバーシップ2														
13	生活習慣病の予防・改善とヘルスコミュニケーション1														
14	生活習慣病の予防・改善とヘルスコミュニケーション2														
15	患者・病者を支えるコミュニケーション														
ラ イ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	小レポート、ミニツッパーパー				工 夫 そ の 他 の	自他理解のための心理検査・尺度の活用、 コミュニケーション技法の理解を促す 動画の活用など								
	B:意見の表現・交換	ミニツッパーパー、質疑応答													
	C:応用志向	ロールプレイ、集団討議													
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	参考書などをもとに予習する(25h)。													
	事後学修	配付資料や参考書をもとに復習する(25h)。													
	想定時間合計	50													
教科書	特定の教科書は使用しない。 授業中に配布する資料などを使用する。														
参考書	授業毎に参考書を数冊、紹介する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	筆記試験	80%										
	レポート	10%										
	ミニツツペーパー、授業への取り組み	10%										
	上記の評価の割合は目安であり、総合的に評価する。											
注意事項	進行状況により、授業内容や順番を一部変更する場合がある。											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の実務 経験	大分県立高等学校のスクールカウンセラー、大分産業保健総合支援センターのメンタルヘルス相談員											
実務経験を いかした教 育内容	クライアントや患者とのコミュニケーションのとり方、傾聴の技法、メンタルヘルス支援の方法などに関する講義や実習も行う。											